



2016年3月期第2四半期決算説明会 (2015年4月1日～2015年9月30日)



2015年11月10日
Global Logistics Partner
株式会社 近鉄エクスプレス
kintetsu world express

■ 2016年3月期第2四半期決算概要 及び2016年3月期通期業績見通しについて

- 02 APLL Logistics (APLL) 子会社化に伴う
財務諸表への取り込みについて
- 03 連結:2016年3月期第2四半期業績 貸借対照表
- 04 連結:キャッシュ・フロー計算書
- 05 2016年3月期第2四半期の業績(累計)
- 06 連結:営業収入と原価・販売管理費の比較
- 07 営業収入・営業利益のセグメント別内訳
- 08 2016年3月期第2四半期 業績の主な要因
- 09 地域別・営業利益率の推移
- 10 営業収入の事業別内訳
- 11 輸送モード別の営業粗利益率
- 12 四半期ごとの業績の推移
- 13 連結:2016年3月期通期業績見通し(予想)
- 14 2016年3月期営業収入・営業利益の
セグメント別内訳(予想)

■ 今後の事業拡大に向けた施策

- 16 中期経営計画(2013年度～2015年度)の概要
- 17 中期経営計画3ヵ年の業績数値目標(連結)
- 18 KWE・APLLの業績推移のイメージ
- 19 航空・海上物量の推移・目標
- 20 中計最終年度(2015年度)の取り組み
- 21 海外での事業展開
- 22-23 APLLとのシナジー創出に向けた取り組み
- 24 下期の見通し
- 25 配当について

■ 参考資料

- 28 KWEグループのグローバル・ネットワーク
- 29 地域セグメント別物量実績(航空)
- 30 地域セグメント別物量実績(海上)
- 31 取扱品目の現状-①(日本単体:航空貨物)
- 32 取扱品目の現状-②(日本単体:海上貨物)

APL Logistics(APLL)子会社化に伴う 財務諸表への取り込みについて

● 2016年3月期 第2四半期決算への影響について

◆ 貸借対照表 (B/S)

- ◆ 2015年6月30日をみなし取得日としており、6月末日現在のB/Sを連結。

◆ 損益計算書 (P/L)

- ◆ APLLは12月決算であり、みなし取得日の関係から1～6月の損益は連結対象外。

- ➡ 7月以降の損益が第3四半期から連結対象。のれん償却も第3四半期より計上。
通期では7～12月の6ヵ月分が連結対象。

※ 今期より「APLL」セグメントを新設

※ APLLの株式取得関連費用816百万円を当第1四半期に計上済み

連結：2016年3月期第2四半期業績 貸借対照表



(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	増減額	備考
(資産の部)				
流動資産	131,006	181,517	50,511	APLLのB/S連結による(現預金および営業未収入金の増加)
固定資産	63,547	204,392	140,845	
有形固定資産	39,831	46,554	6,722	APLLのB/S連結による
無形固定資産	2,520	129,755	127,234	APLLの取得に係るのれんの計上による
投資その他の資産	21,194	28,082	6,888	APLLのB/S連結による
資産合計	194,553	385,910	191,356	
(負債の部)				
流動負債	53,772	233,631	179,859	APLLの取得に係る資金調達等による
固定負債	11,093	14,065	2,971	国内ロジスティクス機能強化への設備投資資金借入等による
負債合計	64,865	247,696	182,830	
(純資産の部)				
純資産合計	129,687	138,213	8,526	APLLのB/S連結による
負債純資産合計	194,553	385,910	191,356	

連結：キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2015年3月期 第2四半期(累計)	2016年3月期 第2四半期(累計)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,101	5,983	3,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,789	△142,149	△137,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,700	145,844	147,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,414	283	1,697
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,802	9,962	15,764
現金及び現金同等物の期首残高	47,963	48,700	737
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,161	58,662	16,501

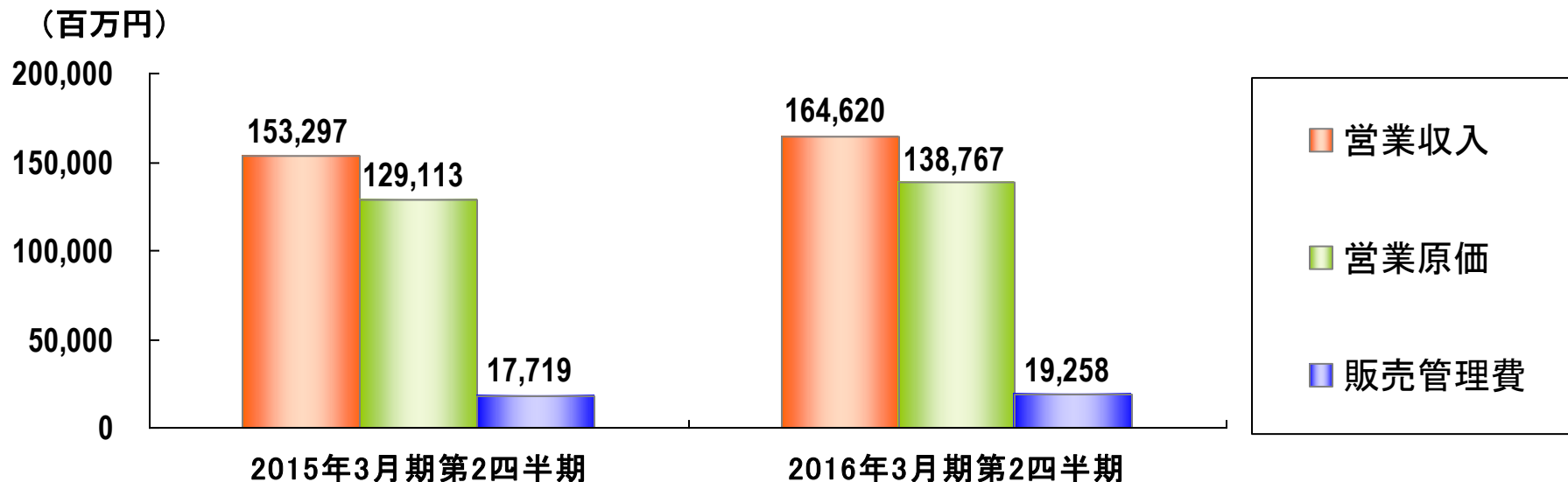
2016年3月期第2四半期の業績(累計)

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

項目	2015年3月期第2四半期実績		2016年3月期第2四半期実績		2016年3月期第2四半期予想 (※2015/5/8発表時予想)	
		前年同期比増減率(%)		前年同期比増減率(%)		
航空輸出重量	231	12.0	229	△0.9	—	
航空輸入件数	590	4.4	606	2.7	—	
海上輸出容積	196	13.6	193	△1.6	—	
海上輸入件数	117	4.2	118	0.7	—	
営業収入	連結	153,297	14.3	164,620	7.4	170,000
営業総利益	連結	24,184	8.5	25,853	6.9	—
営業利益	連結	6,464	3.6	6,595	2.0	8,000
経常利益	連結	6,994	2.8	7,038	0.6	7,800
税金等調整前 四半期純利益	連結	5,227	△20.4	7,034	34.6	—
親会社株主に帰属 する当期純利益 (旧:当期純利益)	連結	2,950	△27.4	4,140	40.4	5,200

適用レート	2015年3月期 第2四半期	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期
対USドル	102.47円	105.85円	120.23円
対EURO	140.43円	140.42円	134.17円

連結：営業収入と原価・販売管理費の比較

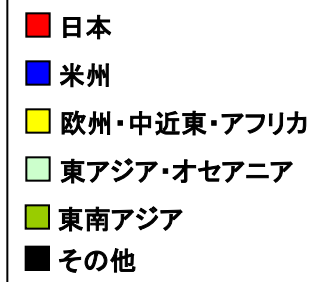
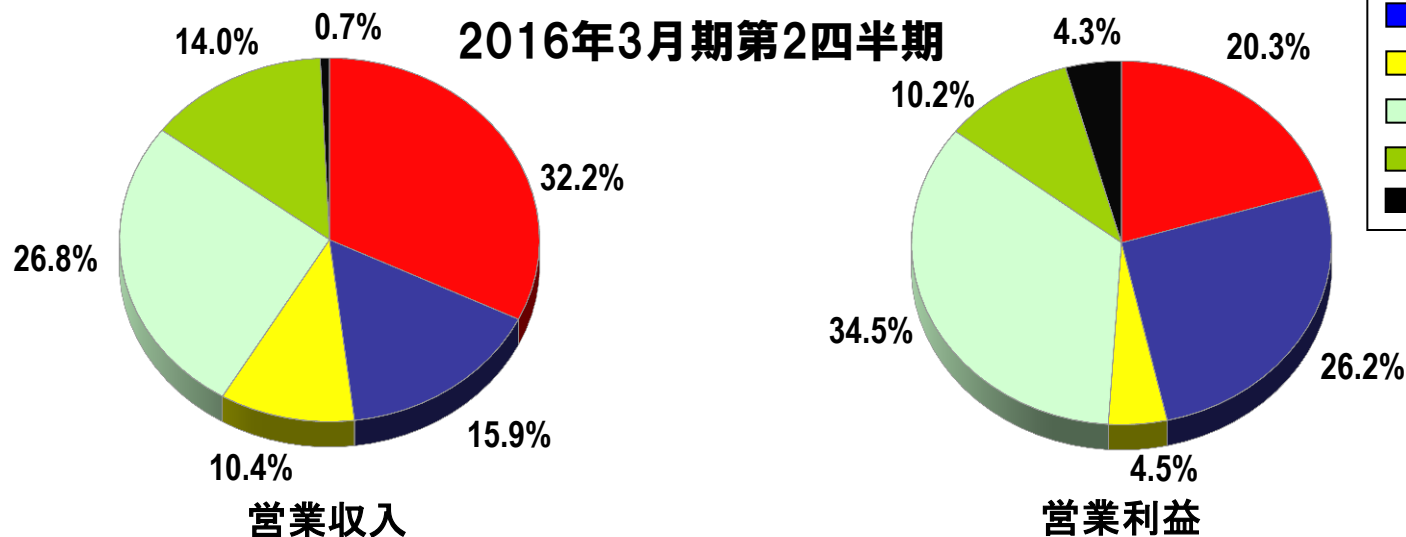


(百万円)

	2015年3月期第2四半期	対営業収入比	2016年3月期第2四半期	対営業収入比
営業収入	153,297	100.0%	164,620	100.0%
営業原価	129,113	84.2%	138,767	84.3%
販売費及び一般管理費	17,719	11.6%	19,258	11.7%
営業利益	6,464	4.2%	6,595	4.0%

営業収入・営業利益のセグメント別内訳

営業収入・営業利益のセグメント別構成比(APLLを除く)



地域別	営業収入	前2Q比増減率	営業利益	前2Q比増減率
日本	54,861	△1.8%	1,500	△28.6%
米州	27,040	32.4%	1,944	52.8%
欧州・中近東・アフリカ	17,766	△3.0%	331	14.6%
東アジア・オセアニア	45,690	6.7%	2,558	17.4%
東南アジア	23,935	26.4%	756	160.7%
APLL	—	—	△816	—
その他	1,217	11.3%	321	△2.8%
調整額	△5,890	—	0	—
合計	164,620	7.4%	6,595	2.0%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

※APLLの当第2四半期の事業上の損益は連結対象外であるため、円グラフはAPLLセグメントを除いて作成しています。

① 単体は航空輸出品量の伸び悩みや運賃原価の上昇等により計画未達、減益。

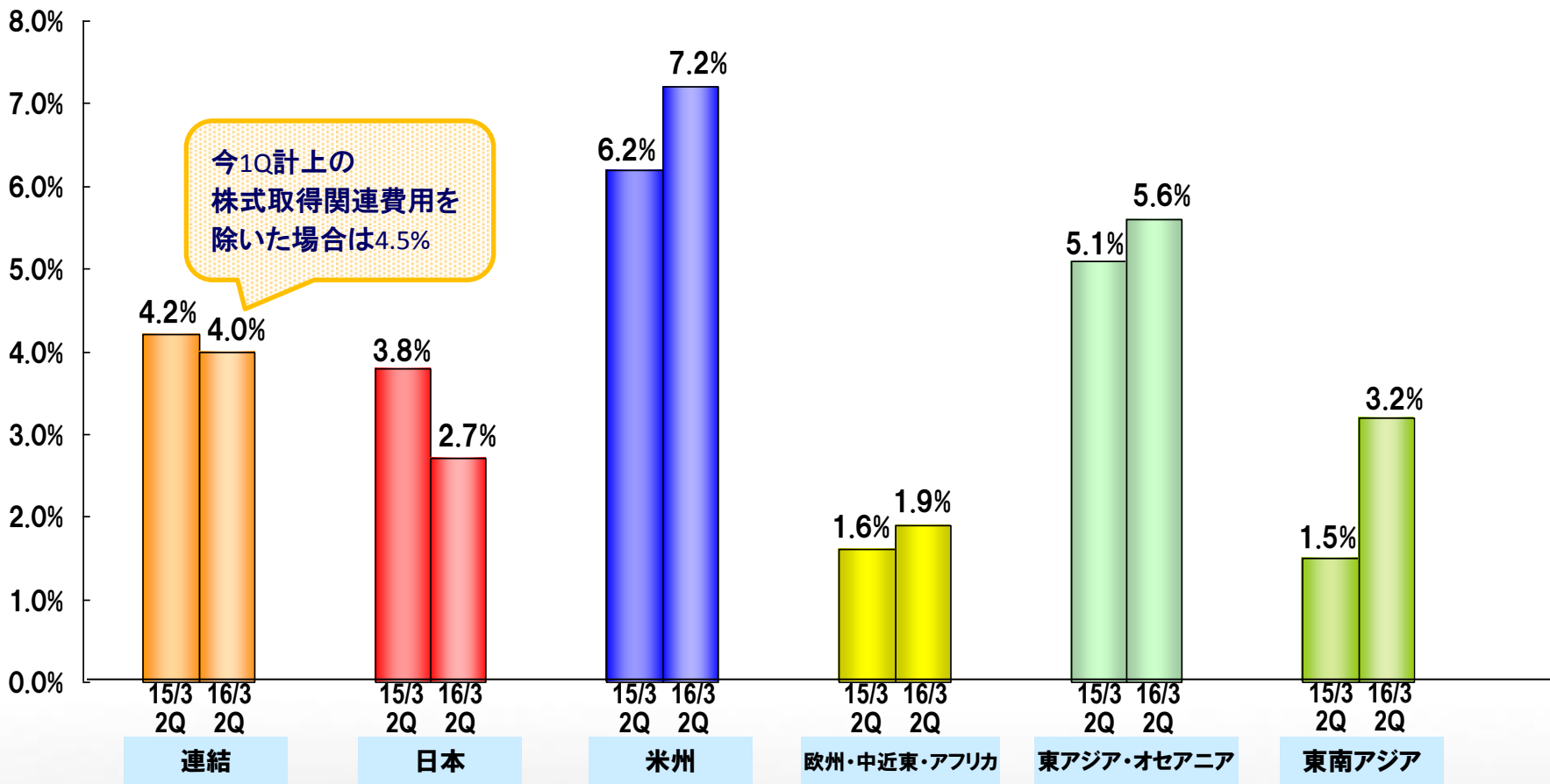
- 単体の営業利益率は前年同期の2.9%から2.2%へ。
- 国内関係会社は前年同期の反動(消費増税前の駆け込み需要、パソコン買い替え需要)等により苦戦。

② 海外は米州、東南アジアが引き続き好調に推移。

- 海外四極の営業利益率は、前年同期の4.0%から4.9%へ(除くAPLL)。
- 米州は米国西岸の荷役遅延による航空輸送の増加と販売拡大により好調に推移。
- 欧州・中近東・アフリカはドイツ、英国が不振。
- 東アジアは物量の減少、営業費用の増加により利益計画に届かず。
- 東南アジアは改善施策の成果や販売拡大により、回復基調が継続。

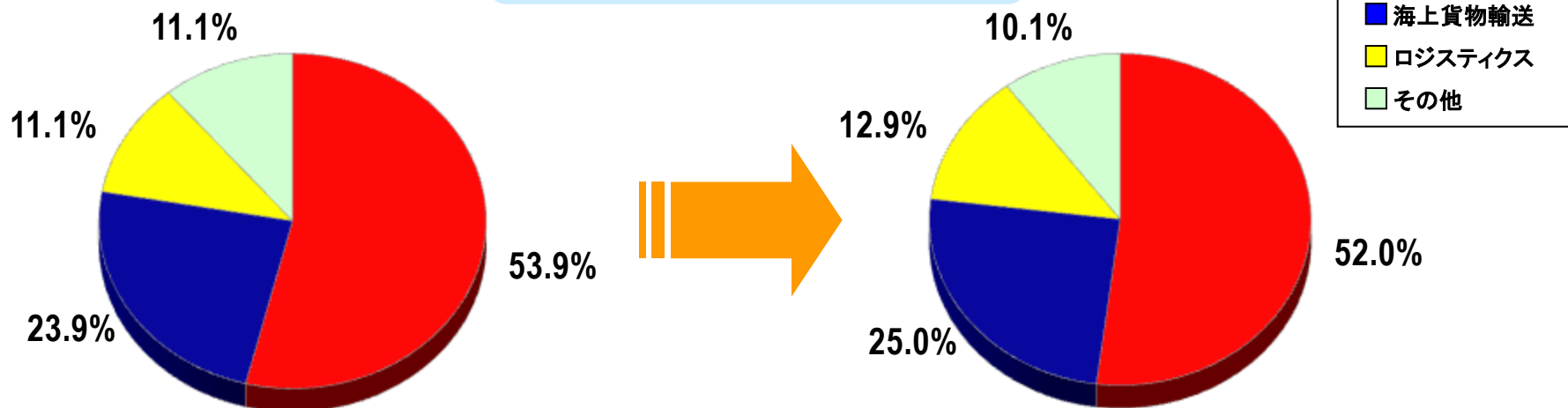
地域別・営業利益率の推移

2015年3月期・2016年3月期
第2四半期累計(実績)



営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比



2015年3月期2Q累計(実績)

2016年3月期2Q累計(実績)

(百万円)

各事業		2015年3月期 2Q累計		2016年3月期 2Q累計	
		営業収入		営業収入	
貨物輸送事業	航空貨物輸送	82,693	85,594	3.5%	
	海上貨物輸送	36,604	41,086	12.2%	
	ロジスティクス	17,035	21,247	24.7%	
	その他	16,963	16,692	△1.6%	
合計		153,297	164,620	7.4%	

輸送モード別の営業粗利益率

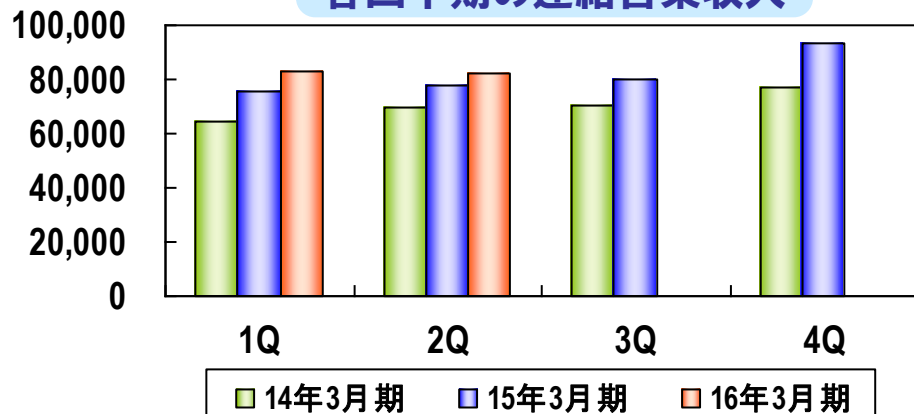
* 営業粗利益＝営業収入－直接原価

	2014年3月期	2015年3月期 (2Q累計)	2015年3月期	2016年3月期 (2Q累計)
航空貨物輸送	28.8%	26.7%	26.9%	28.5%
海上貨物輸送	23.3%	22.5%	22.4%	22.1%

四半期ごとの業績の推移

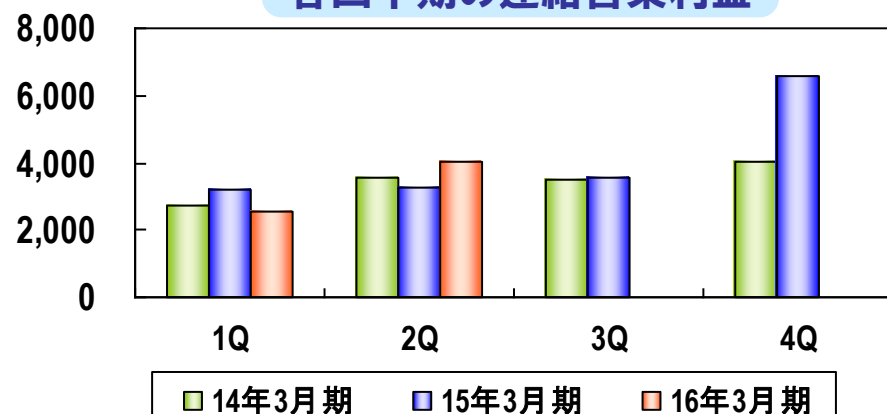
(百万円)

各四半期の連結営業収入



(百万円)

各四半期の連結営業利益



(百万円)

連結営業収入	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	64,644	69,477 (134,121)	70,635 (204,756)	76,749 (281,505)
15年3月期	75,240	78,057 (153,297)	80,309 (233,606)	93,586 (327,192)
16年3月期	82,752	81,868 (164,620)	— (—)	— (—)
連結営業利益	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	2,710	3,528 (6,238)	3,472 (9,710)	4,032 (13,742)
15年3月期	3,193	3,271 (6,464)	3,539 (10,003)	6,560 (16,563)
16年3月期	2,564	4,031 (6,595)	— (—)	— (—)
連結経常利益	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	2,925	3,879 (6,805)	3,628 (10,433)	4,834 (15,267)
15年3月期	3,573	3,421 (6,994)	4,038 (11,032)	7,397 (18,429)
16年3月期	2,846	4,192 (7,038)	— (—)	— (—)

* ()内は1Qからの累積数値

連結:2016年3月期業績見通し(予想)

<中期経営計画 最終年度>

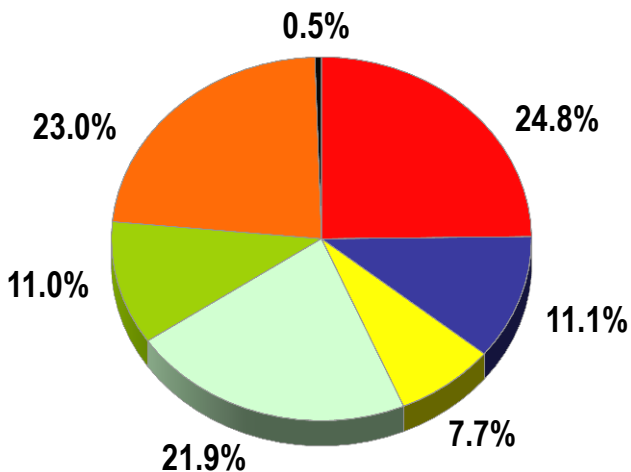
※2015年8月6日の公表値から変更はありません。

(百万円)

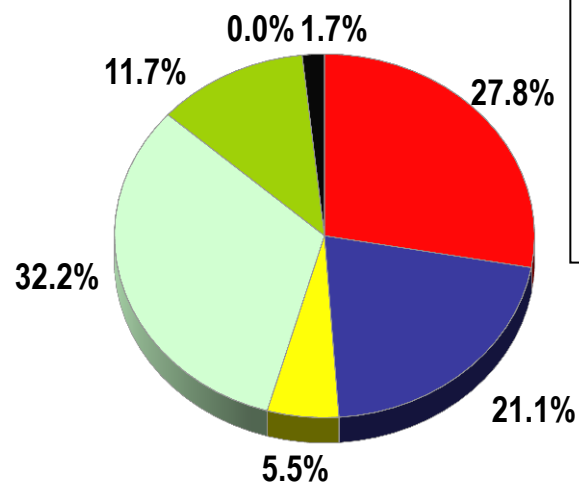
項目	2015年3月期(実績)		2016年3月期(予想)	
		前期比増減率 (%)		前期比増減率 (%)
営業収入	327,192	16.2	450,000	37.5
営業総利益	52,556	13.5	71,000	35.1
営業利益	16,563	20.5	18,000	8.7
経常利益	18,429	20.7	17,500	△5.0
税金等調整前 当期純利益	16,372	9.8	17,500	6.9
親会社に帰属する 当期純利益 (旧:当期純利益)	10,489	11.4	11,700	11.5

2016年3月期営業収入・営業利益の セグメント別内訳 (予想) (2015年8月6日発表より変更なし)

営業収入・営業利益のセグメント別構成比



営業収入



営業利益

(百万円)

地域別	営業収入	前期比増減率	営業利益	前期比増減率
日本	113,700	△7.5%	5,000	△21.3%
米州	51,200	19.0%	3,800	31.8%
欧州・中近東・アフリカ	35,400	△5.2%	1,000	35.9%
東アジア・オセアニア	100,400	12.3%	5,800	13.7%
東南アジア	50,600	22.1%	2,100	78.7%
APLL	105,800	—	0	—
その他	2,100	12.5%	300	△2.3%
調整額	△9,200	—	—	—
合計	450,000	37.5%	18,000	8.7%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

今後の事業拡大に向けた施策

～中期経営計画(2013年度～2015年度)最終年度～

中期経営計画(2013年度～2015年度)の概要

—欧米の競合他社と対等に戦える経営構造の構築を目指す—

2016年3月期の目標

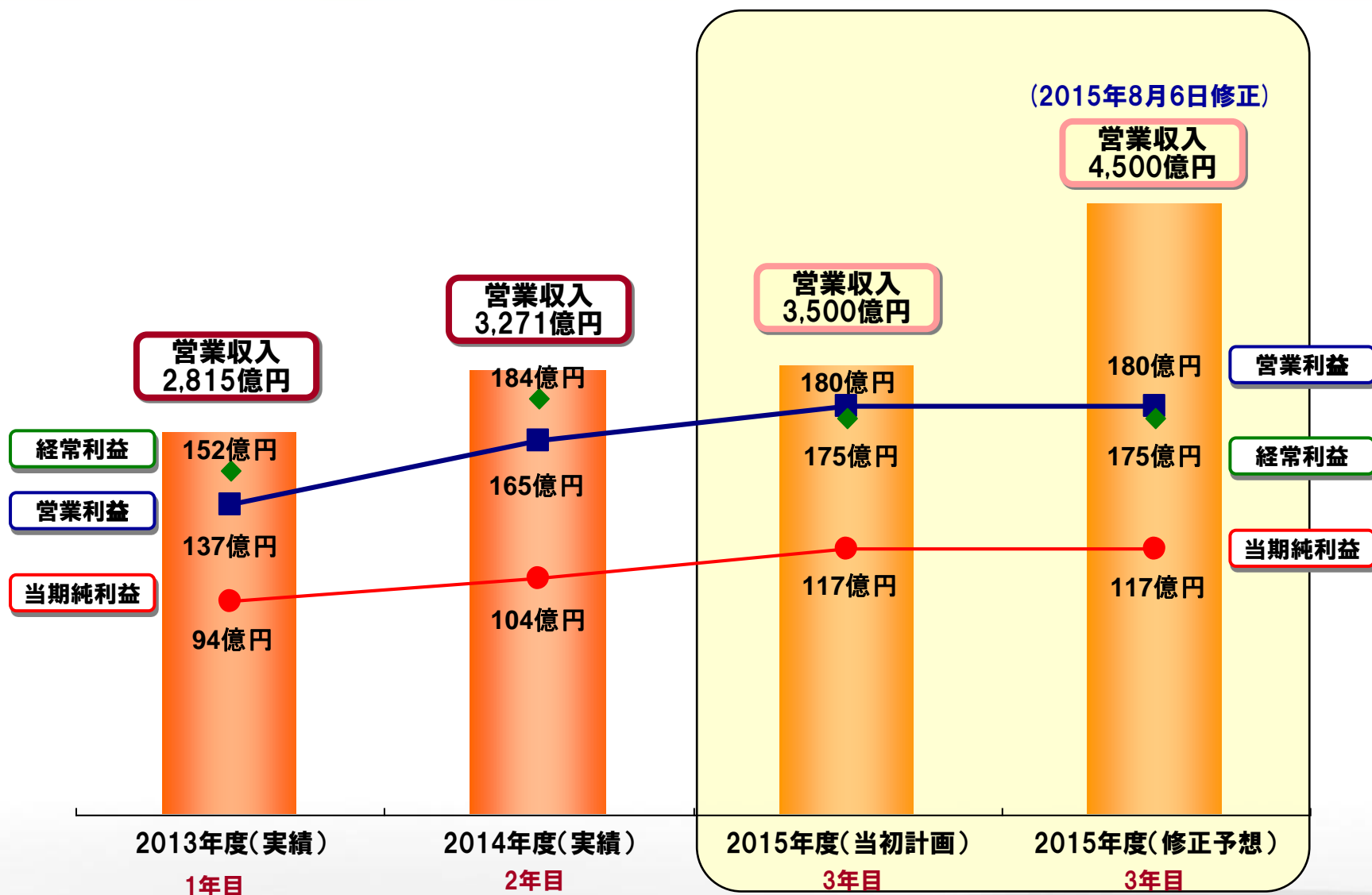
連結営業収入:	4,500億円 (2013年3月期の1.8倍)
連結営業利益:	180億円 (2013年3月期の1.4倍)
連結経常利益:	175億円 (2013年3月期の1.3倍)

2015年8月6日にAPLLを
連結子会社化し営業収入を
上方修正

経営戦略 3つの柱

1. バランスの取れた事業構成の構築と重点品目の取扱い拡大を図る
2. 成長する新興国でのプレゼンスの向上を図る
3. オフショア販売の強化と効率性を追求した高品質なオペレーションを構築する

中期経営計画3カ年の業績数値目標(連結)

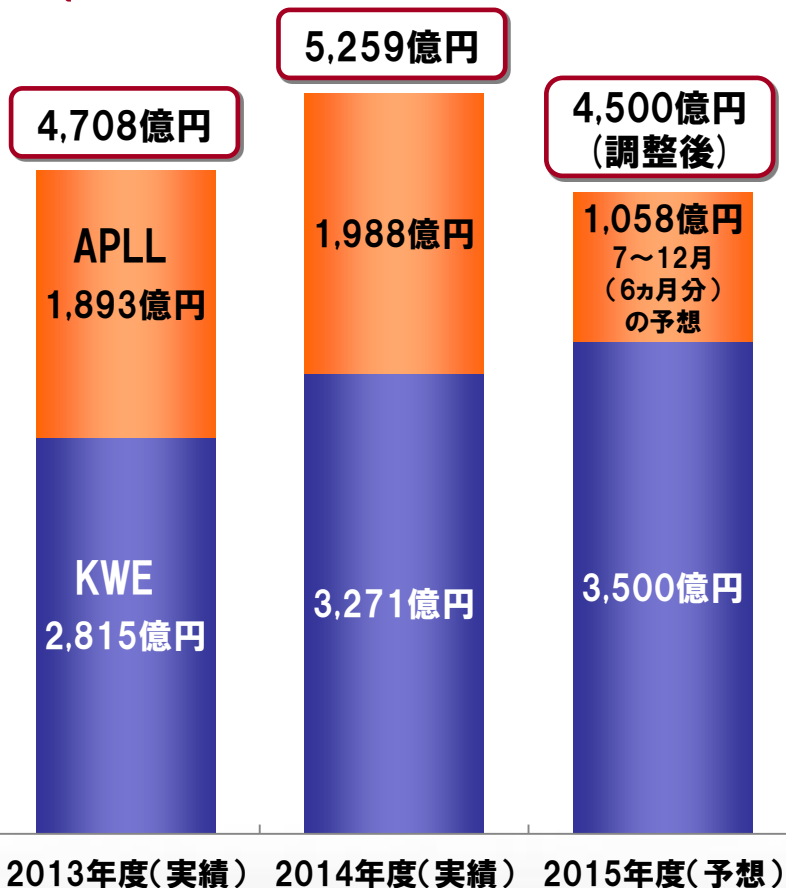


KWE・APLLの業績推移のイメージ

(2015年8月6日発表より変更なし)

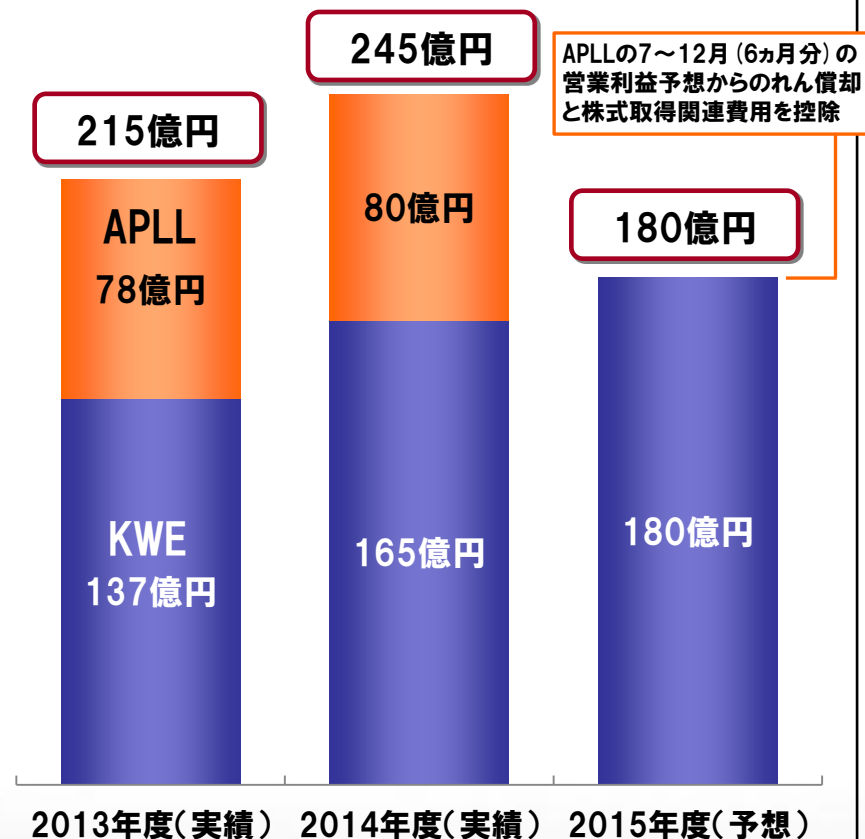
営業収入

両社実績の単純合算



営業利益

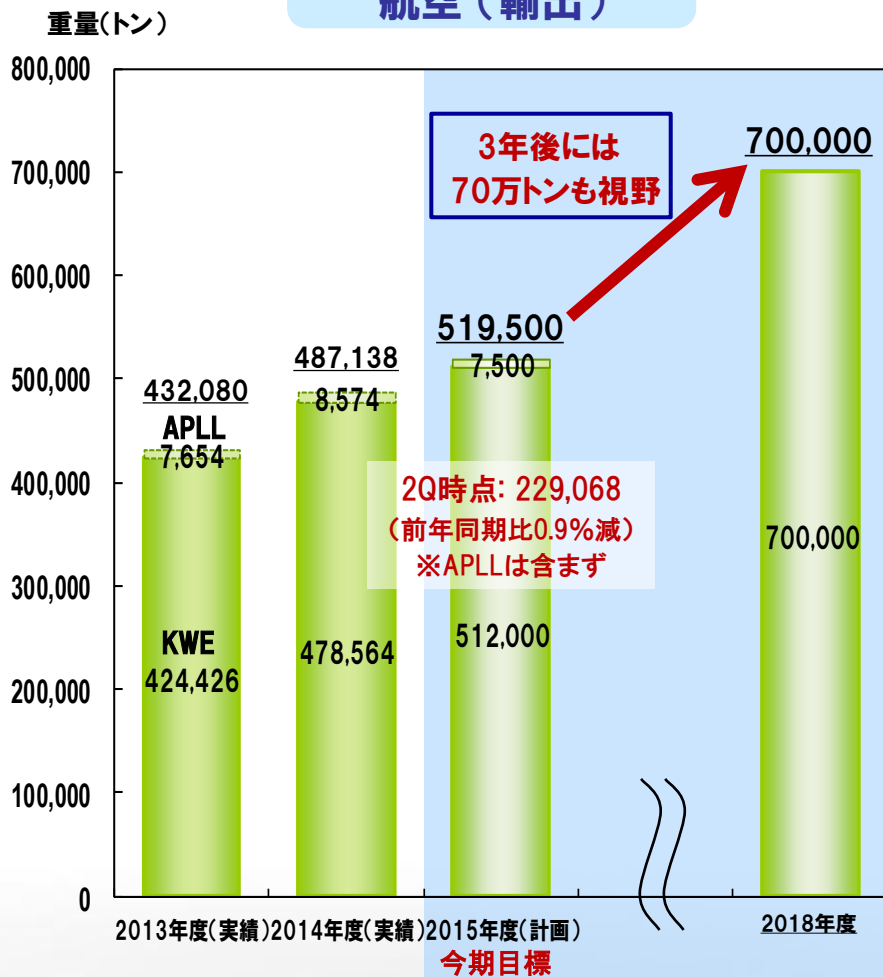
両社実績の単純合算



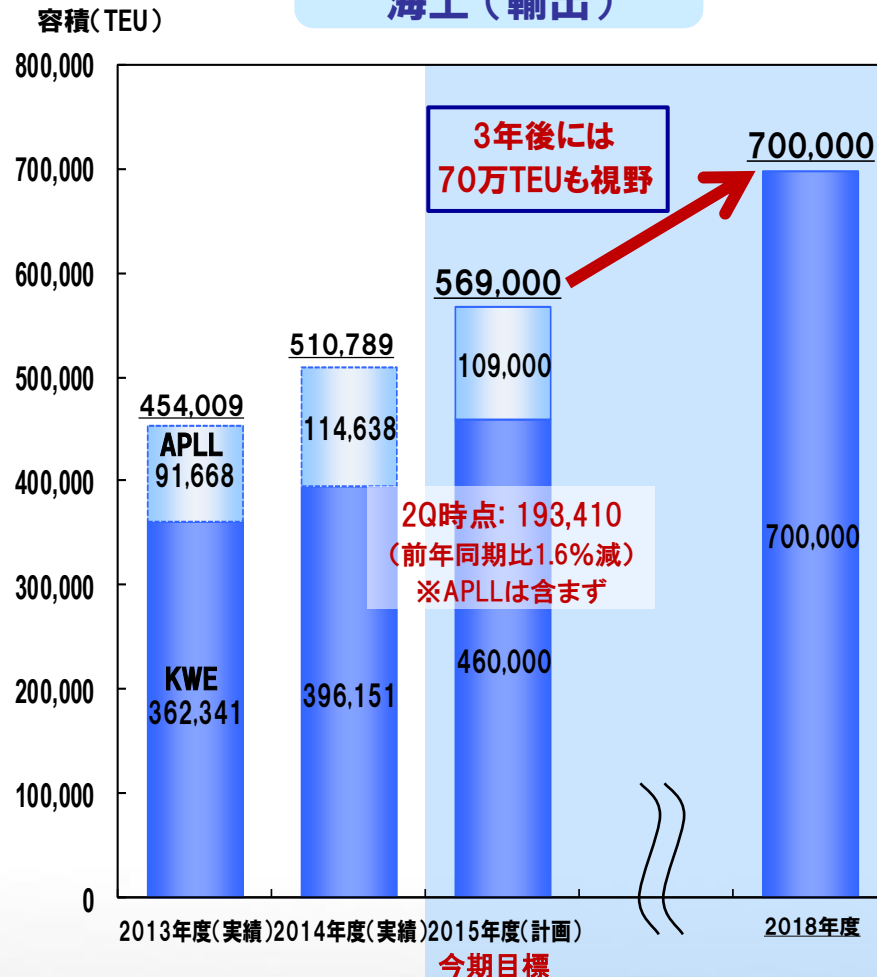
注) APLLの実績は各年とも1USD=120円で計算しています。

航空・海上物量の推移・目標

航空（輸出）



海上（輸出）



中計最終年度(2015年度)の取り組み

- (1) コーポレートアカウントの取扱い拡大
- (2) パワーレーン (アジア域内、アジア-欧米間等) 戦略の推進と消費市場での輸入貨物の取扱い拡大
- (3) オフショアビジネス (三国間輸送) の拡大
- (4) 成長市場でのネットワーク拡充とビジネス拡大
(カンボジア、ミャンマー、中南米、インド、中国等)
- (5) 友好キャリア (航空・海上) との関係強化
- (6) M & A実施会社とのシナジーの最大化

● インドでの事業拡大

- ◆ KWE India、Gati-Kintetsu (GKE)の協働により順調にビジネスを拡大
 - ・ 輸入代行サービス、e-Commerce配送サービスの提供
 - ・ 「インド開発室」(2015年2月開設)による取扱物量の拡大
- 今後は、KWE-GKE-APLLの3社でシナジーを創出



GKE Pataudiターミナル

● メキシコ法人が引き続き好調に推移

- ・ グループ全体の自動車ビジネス拡大に寄与



KWEメキシコ
イラプアト事務所

● メコン地域でのネットワーク整備

- ・ カンボジア法人設立(2015年1月)、ミャンマーの法人化は来期を視野

APLLとのシナジー創出に向けた取り組み

シナジーの創出に向けたアクションプラン

① Air Freightの取り組み

- APLLが外部に委託しているビジネスをKWEが取り込む。
- APLLが航空輸送を取り扱えていない顧客に対して、共同販売により獲得を目指す。

② Sea Freightの取り組み

- スケールメリットを生かし、共同仕入れによるコストシナジーを創出する。
- アジア発北米向けLCLサービスを段階的に統合する（KWE・APLLで同じBOXサービスへ）。

③ Logisticsの取り組み（海外）

- KWEの物流施設を活用したAPLL関連ビジネスの取扱い。
- APLLによるKWE顧客へのロジスティクス・サービスの提供。

APLLとのシナジー創出に向けた取り組み

④ Logisticsの取り組み（日本）

- ・APLLの既存顧客の日本でのビジネス獲得（APLLのノウハウ+KWEグループのオペレーション）。

⑤ シナジー推進組織の新設・人事交流の実施

- ・日本本社内に「グループ営業企画部」を設置（2015年11月1日）。
- ・KWE-APLL間での相互出向を予定（2016年1月～）。

⑥ Administration面での取り組み

- ・相互のインフラ・オペレーション機能を利用することやグループ内で分散している業務の効率化を通じて、コストシナジーの創出を目指す。

⇒ シナジーの数値目標は、新中計へ盛り込む予定。

ポジティブ要因

- 海外極が引き続き好調。
 - ・ 東南アジアの回復が継続。
 - ・ 欧州・中近東・アフリカの収支が改善。
 - ・ 新興国法人(メキシコ、タイ、フィリピン、ベトナム)の業績が好調。
- 自動車関連ビジネスの拡大。
- 国内関係会社の業績が回復。

ネガティブ要因

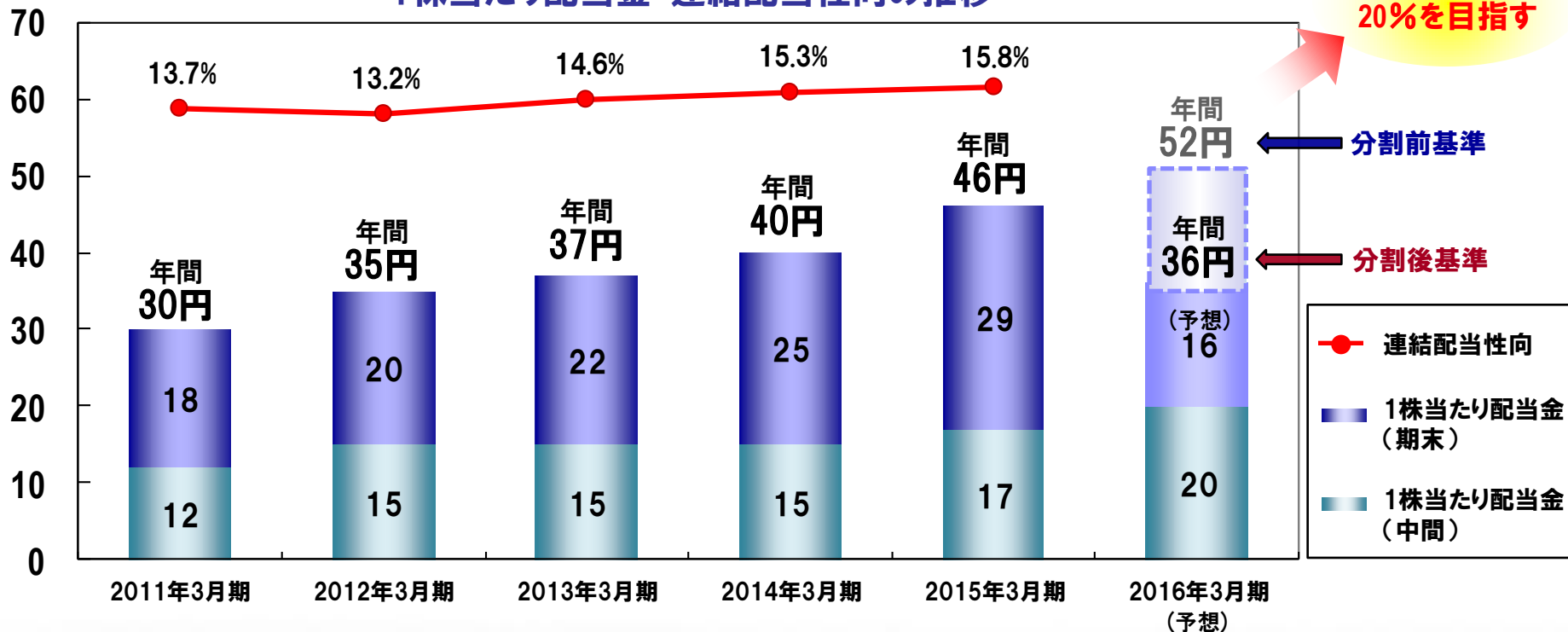
- 日本単体が不振。
- グループ全体の物量が伸び悩み。
- 中国およびアジア主要国での経済減速。

配当について

当社グループは、株主の皆様への利益還元の充実、将来の国内外での事業展開および経営基盤の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本に、各期の連結業績および配当性向等を考慮しながら増配に努めてまいります。

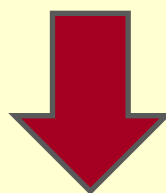
年間配当金(円)

1株当たり配当金・連結配当性向の推移



※2015年10月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施しましたが、2015年5月8日発表の1株当たり期末配当予想32円および合計(年間)の52円に実質的な変更はありません。

**次期中期経営計画
(2017年3月期～2019年3月期、3ヵ年)**

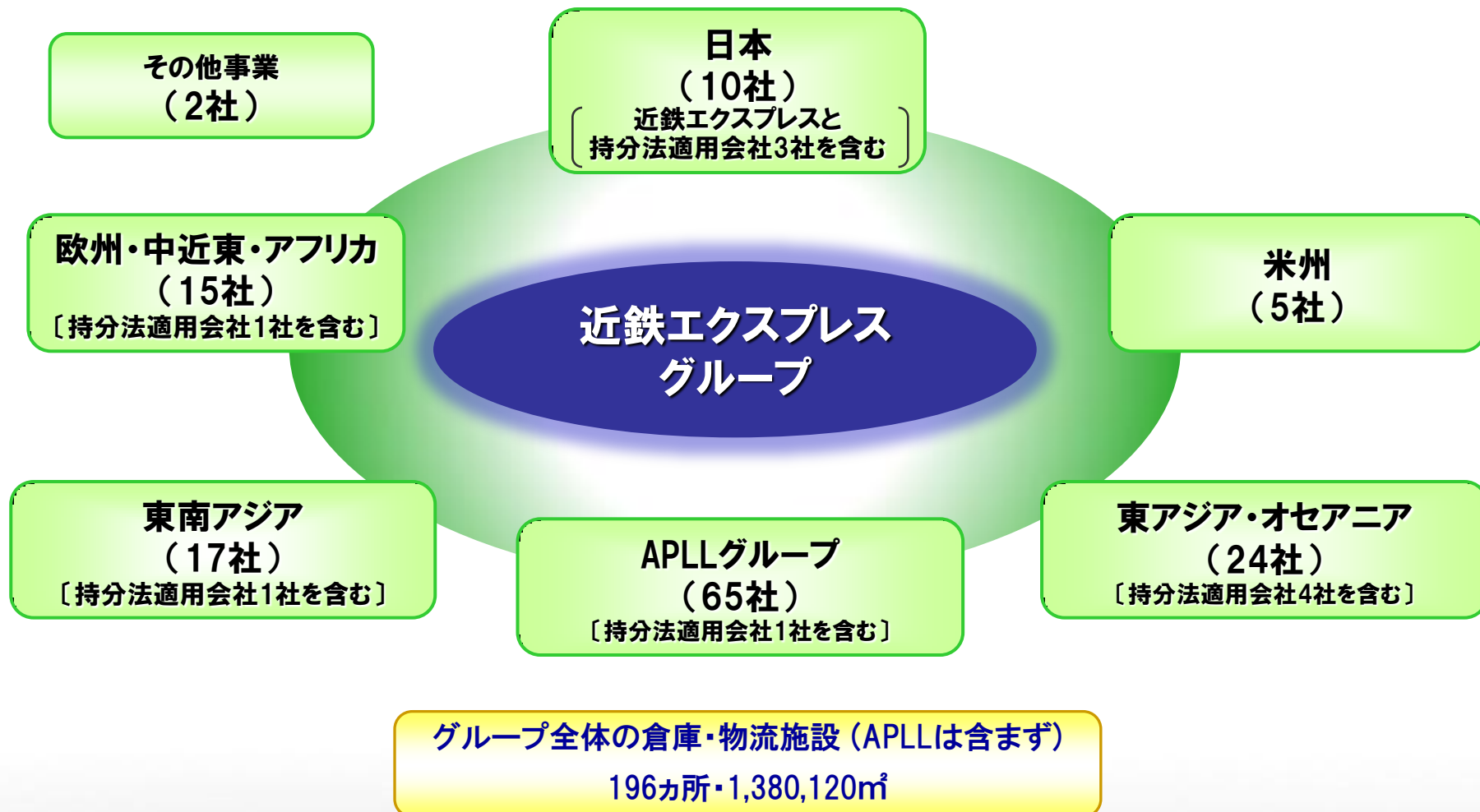


2016年5月に発表予定

参考資料

KWEグループのグローバル・ネットワーク

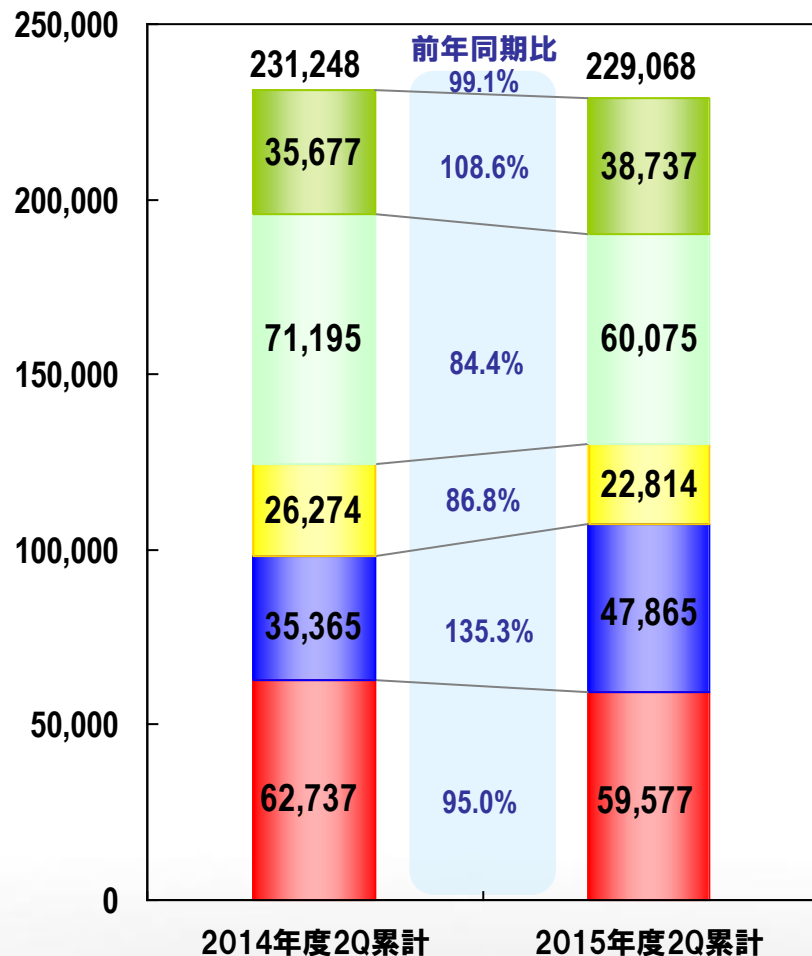
世界 44カ国 323都市 752拠点（2015年9月30日現在）



地域セグメント別物量実績（航空）

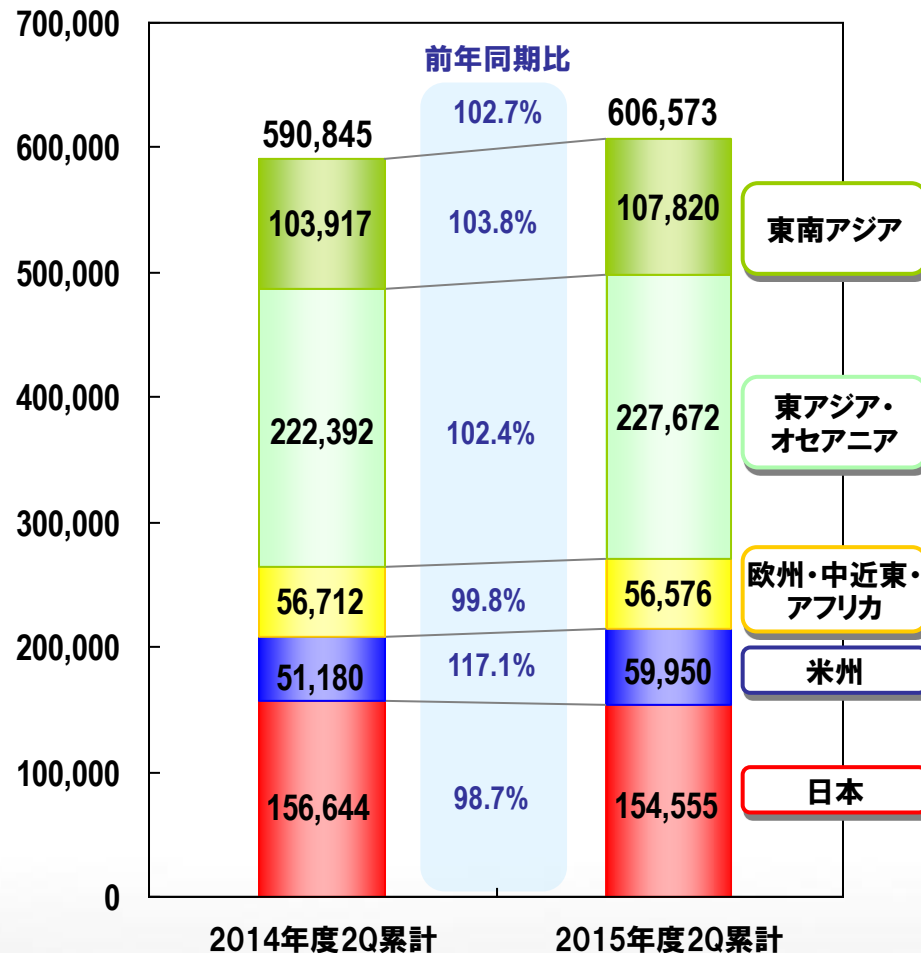
航空輸出

(重量:トン)



航空輸入

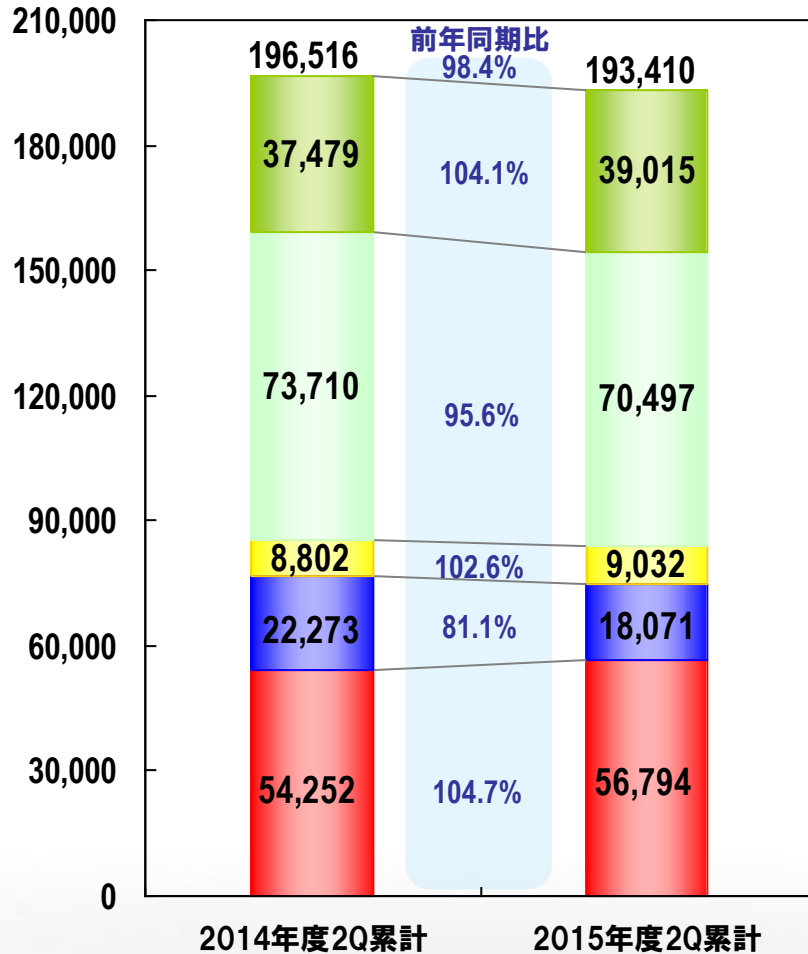
(件数)



地域セグメント別物量実績 (海上)

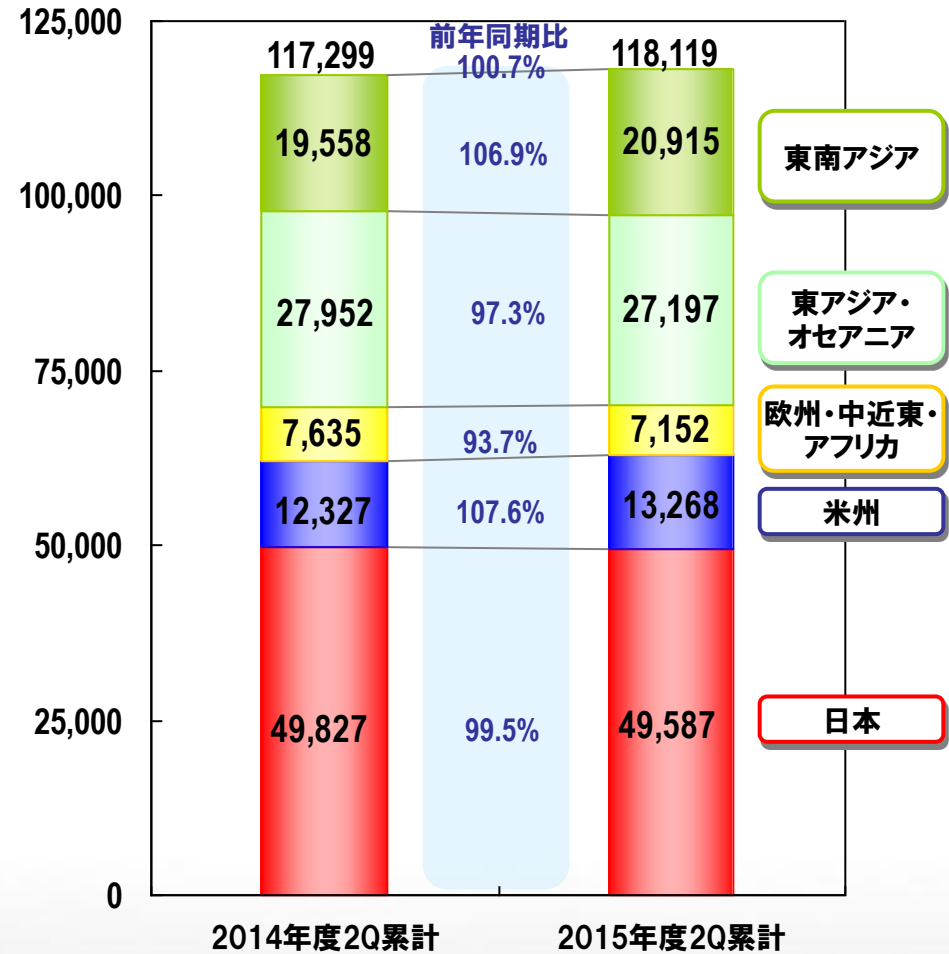
海上輸出

(容積:TEU)



海上輸入

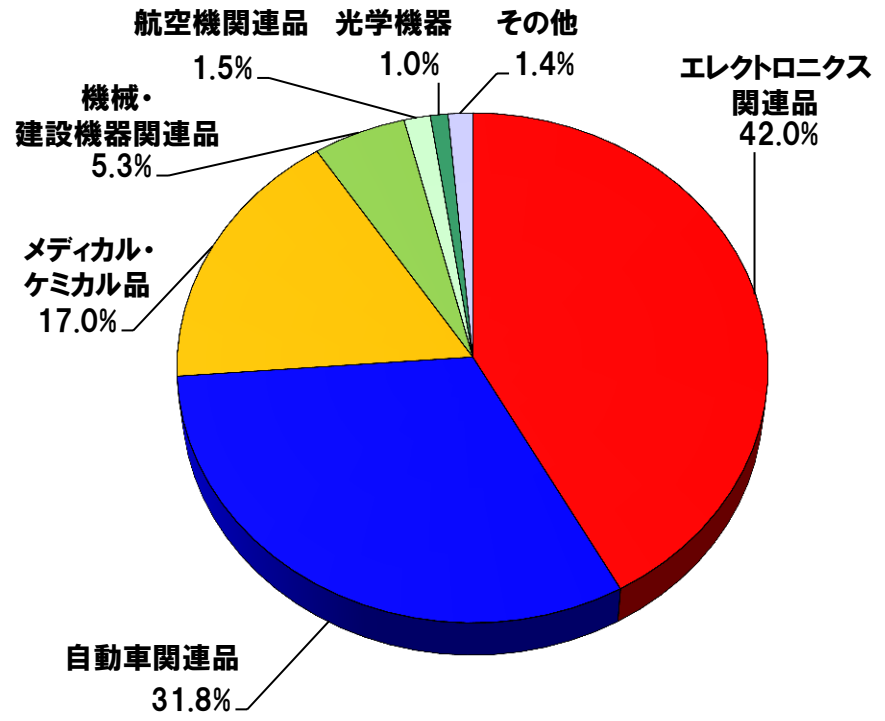
(件数)



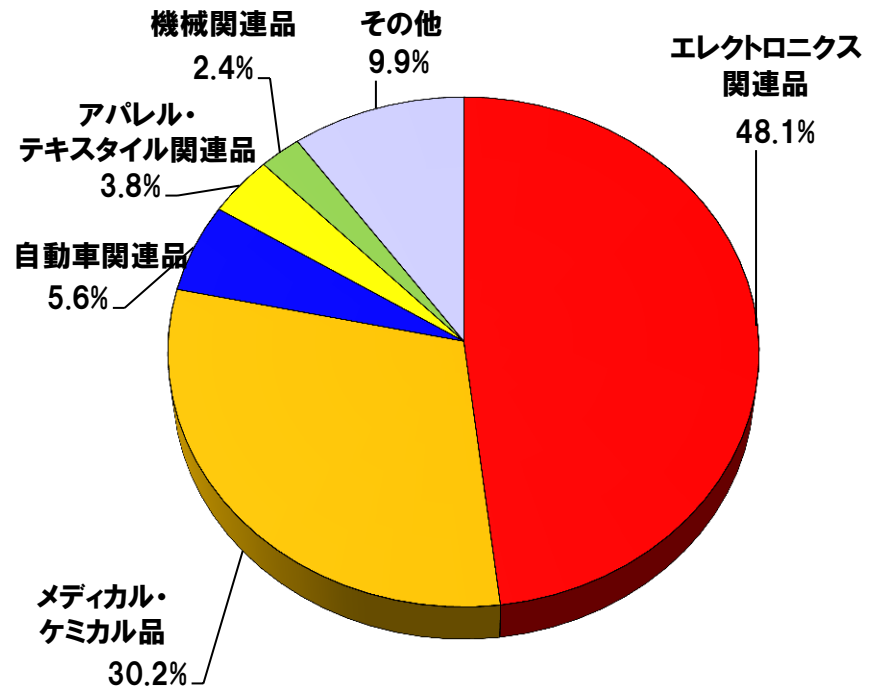
取扱品目の現状①（日本単体：航空貨物）

－ 営業収入上位100社ベースでの構成比－

航空輸出 2015年度第2四半期



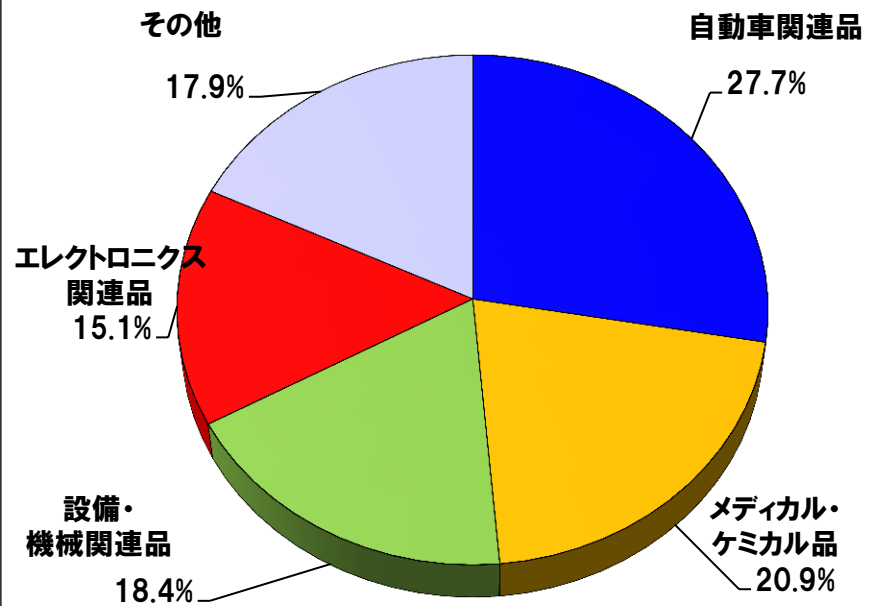
航空輸入 2015年度第2四半期



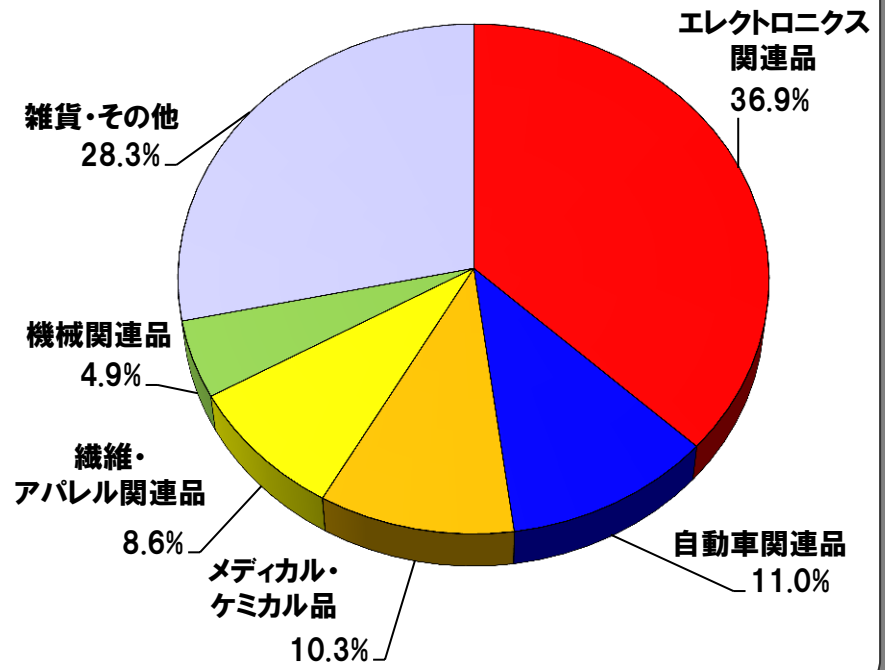
取扱品目の現状②（日本単体：海上貨物）

－ 営業収入上位100社ベースでの構成比 －

海上輸出 2015年度第2四半期



海上輸入 2015年度第2四半期



さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、高橋

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。